

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	淀川区
学 校 名	神津小学校
学校長名	中川 喜孝

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・神津小学校では、第6学年 45名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語の平均正答率において、大阪市平均・全国平均よりそれぞれ3ポイント・4.8ポイント下回った。ただ昨年よりも、大阪市・全国平均との差が4ポイント・3ポイント縮まった。「話すこと・聞くこと」「書くこと」の領域において、昨年より6.1ポイント・0.4ポイント上回る結果となった。昨年と比較し、結果はよくなっている。

算数の平均正答率において、大阪市平均・全国平均よりともに4ポイント下回った。昨年とほぼ同じ結果となった。ただ「変化と関係」「データの活用」の領域において、大阪市・全国平均を上回る結果となった。「数と計算」「図形」の領域では、昨年より低い結果となった。

理科の平均正答率において、大阪市平均・全国平均より1ポイント・3.1ポイント下回った。ただ、「生命」を柱とする領域では大阪市・全国平均を上回り、「エネルギー」を柱とする領域でも大阪市平均を上回ることができた。

平均無回答率は、昨年より下回る結果となった。最後まであきらめず、わかるところから粘り強く問題に取り組む姿勢をさらにていねいに指導していく。

国語・算数・理科ともに、大阪市・全国平均を上回るように、各教科の課題に対して継続して取り組んでいく。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕本校では、令和3年度より昨年度まで国語を研究教科として継続して取り組んできた。令和5年度より大阪市学力経年調査において、大阪市標準化得点を上回る結果となっている。今回の結果においても、昨年度よりもよい結果となった。今後も、継続してわかりやすい授業を目指し取り組んでいく。

〔算数〕本校では、専科指導を継続して行い、課題やつまづきのある児童に支援を行いながら授業に取り組んでいる。また、長期休業中のチャレンジ学習や放課後ジャンプアップ学習会などの取り組みも実施し、学力の底上げをていねいに図っている。今回の結果においても、デジタル教科書・タブレットの活用などの成果が表れ、「変化と関係」「データの活用」の領域において、大阪市・全国平均を上回る結果となった。今後も継続して、日々の授業を工夫しながら取り組んでいく。

〔理科〕授業の中で、実験・観察など児童が直接ふれる体験型の学習を大切に取り組んできた。また、タブレットを活用し調べ学習を行ったり、まとめたことを交流したりしてきた。「理科の授業は好きですか」「理科の授業内容はよく分かりますか」の質問項目において、大阪市・全国平均を上回る結果となっている。今後も、一人ひとりが主体的・対話的に学びを深められる授業を継続して取り組んでいく。

質問調査より

今年度も、「学校に行くのは楽しいと思いますか」「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思いますか」「自分にはよいところがあると思いますか」の項目において、全国平均を上回る結果となった。算数・理科の「授業内容はよく分かりますか」の項目においても、全国平均を上回る結果となった。

課題として、学校の授業以外の学習時間や読書時間において、全国平均を下回る結果となった。また、話し合い活動に関する質問項目においても、肯定的に回答する児童の割合が全国平均を下回る結果となった。今年度より、研究教科として学級活動に取り組んでいる。その話し合いの成果を積み上げ、課題が解決できるようにする。

「人が困っているときは、進んで助けていますか」「友達関係に満足していますか」の項目では、全国平均を上回る結果となっており、引き続き自己肯定感・自己有用感が高まる取り組みを行う。

今後の取組(アクションプラン)

学力向上・自己肯定感の向上を図るため、児童一人ひとりの課題解決に向け、教職員がチームとして日々取り組んでいく。

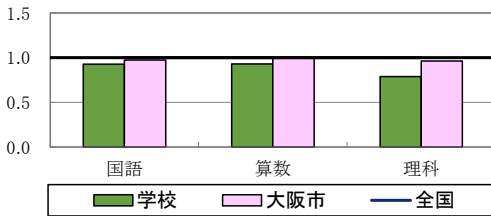
- ・国語科・算数科を中心に、基礎基本を確実に定着させ、「わかる」「できる」が体験できる授業を進めていく。
- ・学級活動を中心に研究活動を行い、自己肯定感を高め、互いに認め合い、よりよく生きようとする子どもの育成に取り組む。
- ・各教科において、学級活動などで学んだ話し合い活動を活かし、互いの意見を交流しながら学習理解が深まる主体的・対話的な学習を進める。
- ・専科指導の実施、課題のある児童へなど、学力向上のための取り組みを行う。
《放課後学習・チャレンジ学習・漢字タイムなど》
- ・今後も、引き続きICT機器やデジタルドリルなどを活用して授業改善に努める。
- ・立腰教育の実践等に取り組み、非認知能力（集中力やあきらめず最後まで努力する力）、自己肯定感や自己有用感、レジリエンス「折れない心」を育成する。

【 全体の概要 】

平均正答率（％）

	国語	算数	理科
学校	62	54	45
大阪市	65	58	55
全国	66.8	58.0	57.1

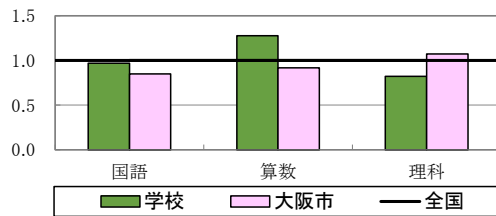
平均正答率(対全国比)



平均無解答率（％）

	国語	算数	理科
学校	3.2	4.6	2.3
大阪市	2.8	3.3	3.0
全国	3.3	3.6	2.8

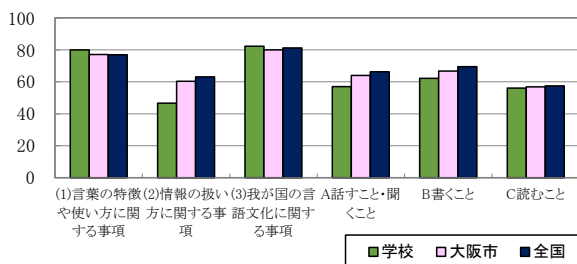
平均無解答率(対全国比)



【 国 語 】

学習指導要領 の内容	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使 い方に関する事項	2	80.0	77.1	76.9
(2)情報の扱い方に 関する事項	1	46.7	60.4	63.1
(3)我が国の言語文 化に関する事項	1	82.2	79.9	81.2
A 話すこと・聞くこと	3	57.0	64.0	66.3
B 書くこと	3	62.2	66.7	69.5
C 読むこと	4	56.1	56.9	57.5

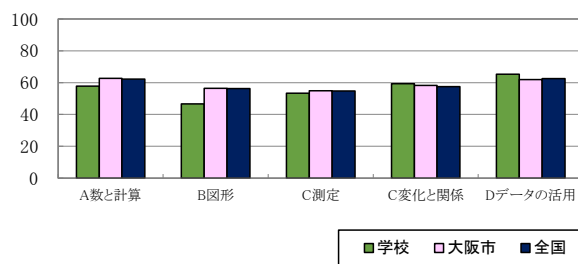
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



【 算 数 】

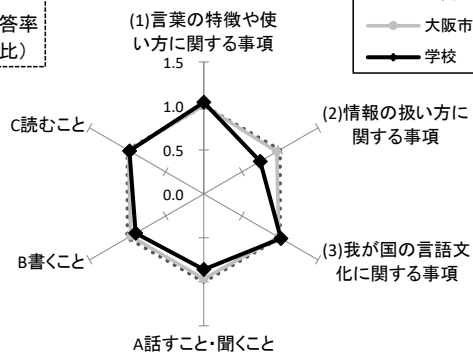
学習指導要領 の領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	57.8	62.7	62.3
B 図形	4	46.7	56.4	56.2
C 測定	2	53.3	54.9	54.8
C 変化と関係	3	59.3	58.2	57.5
D データの活用	5	65.3	61.9	62.6

算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



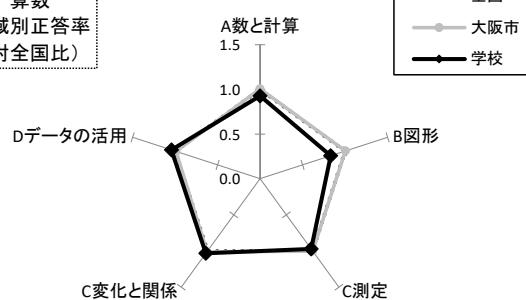
国語

内容別正答率
(対全国比)



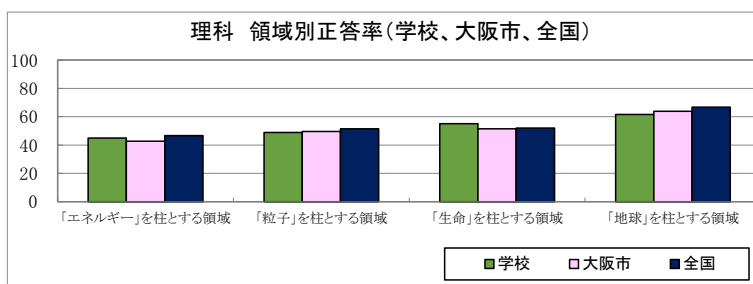
算数

領域別正答率
(対全国比)

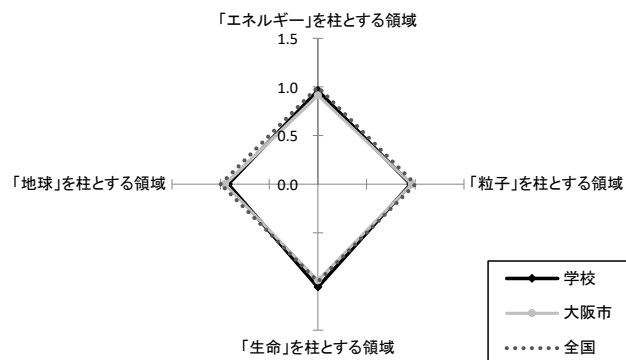


【 理科 】

学習指導要領 の区分・領域	対象 設問数 (問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
A 区 分	「エネルギー」を 柱とする領域	45.0	42.7	46.7
	「粒子」を 柱とする領域	48.9	49.5	51.4
B 区 分	「生命」を 柱とする領域	55.0	51.4	52.0
	「地球」を 柱とする領域	61.5	63.8	66.7



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

5

自分には、よいところがあると思いますか

1

2

3

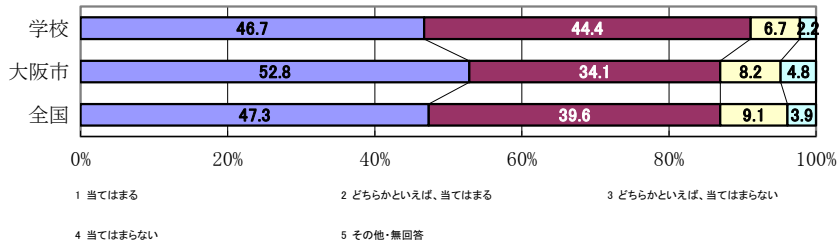
4

5

6

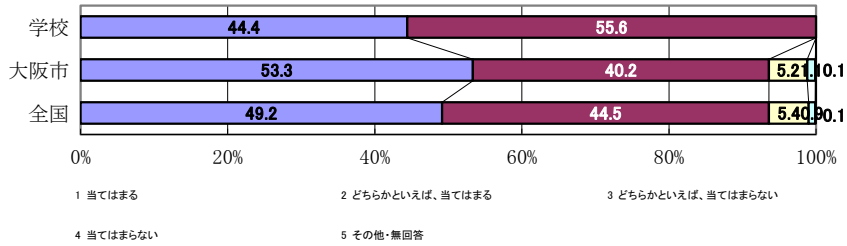
7

8



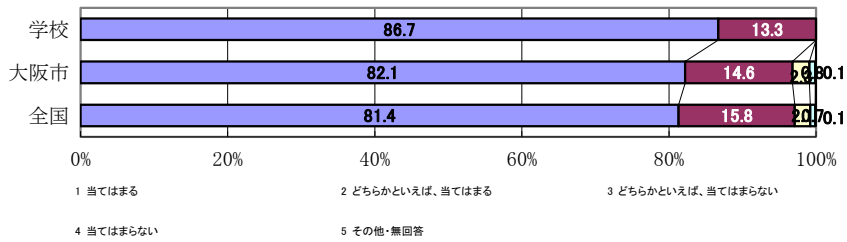
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



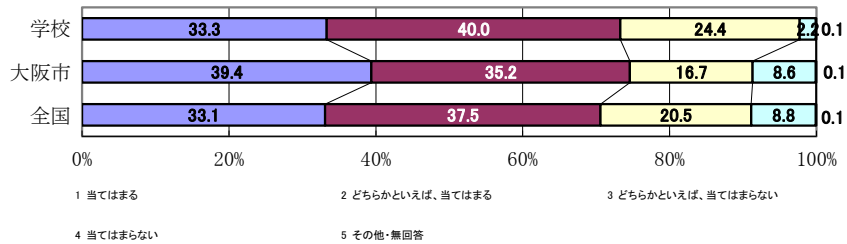
9

いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか



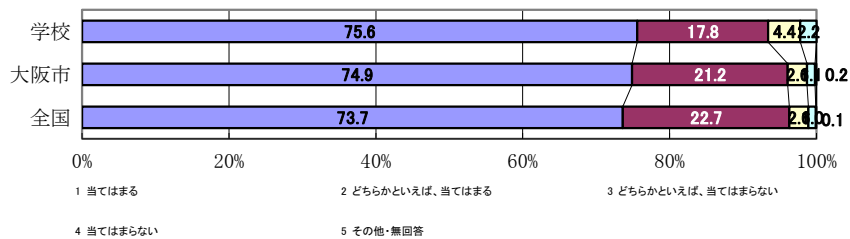
10

困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



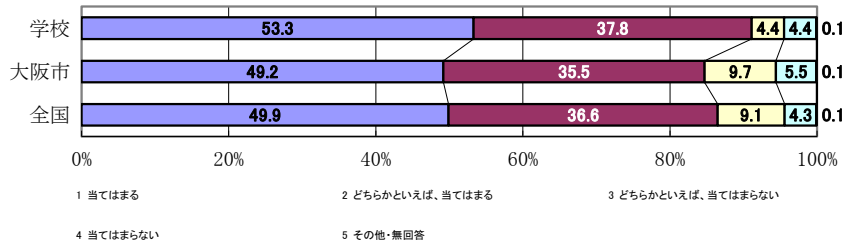
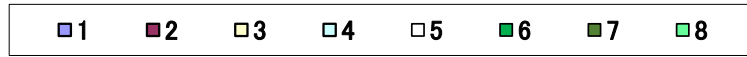
児童質問より

質問番号

質問事項

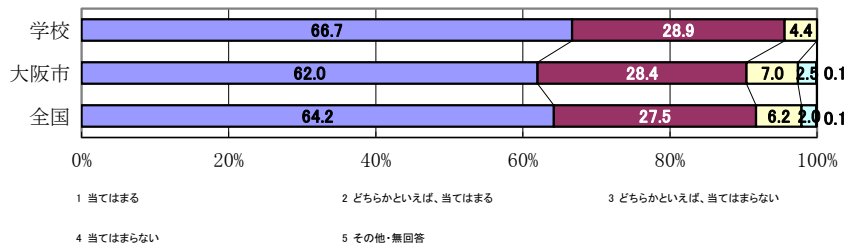
12

学校に行くのは楽しいと思いませんか



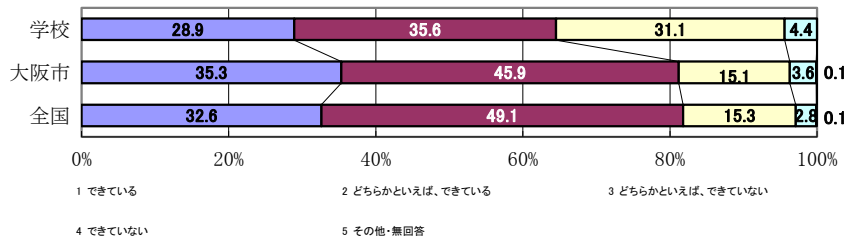
14

友達関係に満足していますか



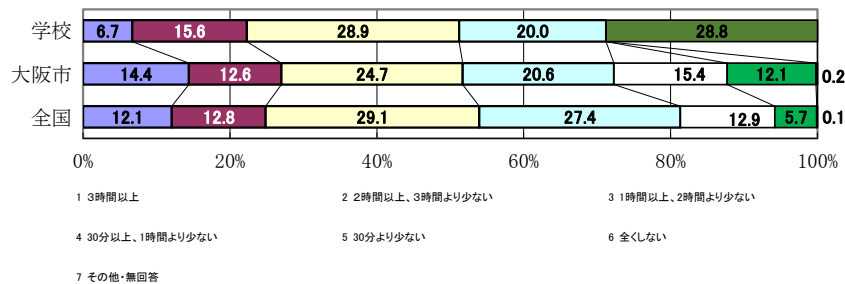
16

分からないことやよくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか



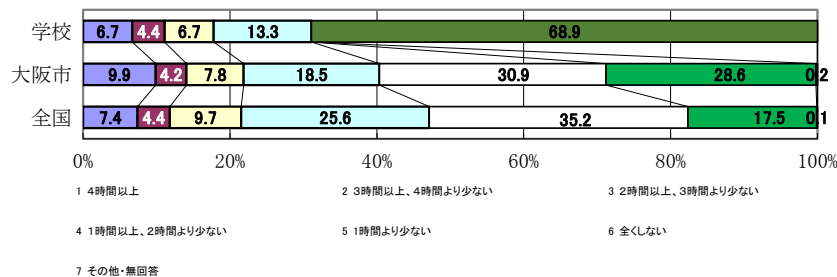
17

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む）



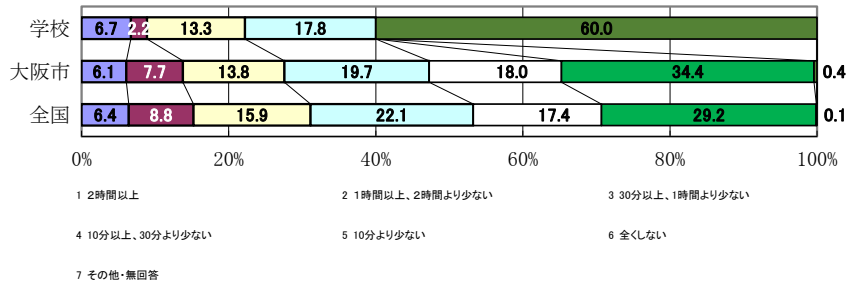
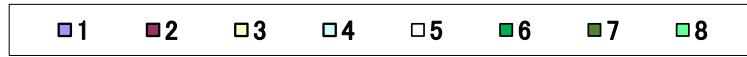
児童質問より

質問番号

質問事項

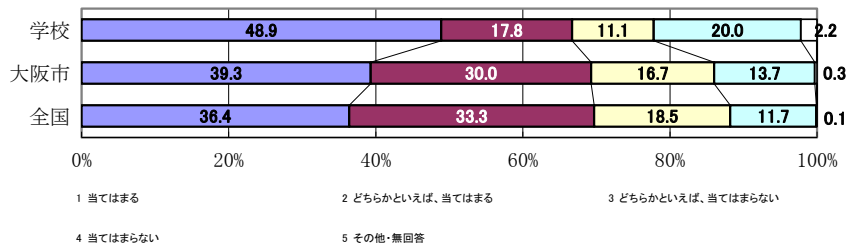
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書を行いますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



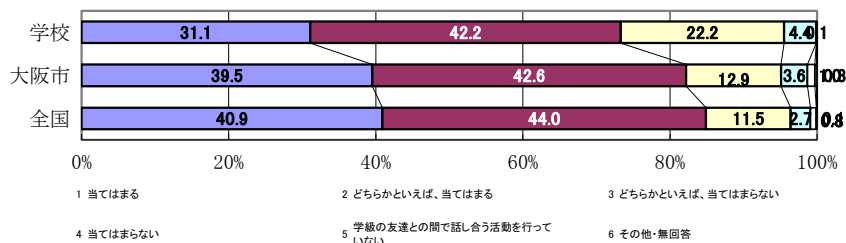
24

読書は好きですか



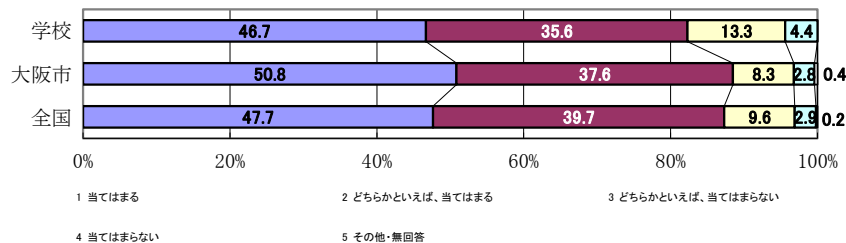
35

学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか



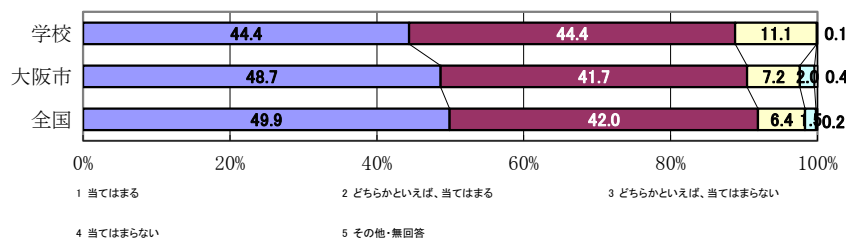
38

先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか



39

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



児童質問より

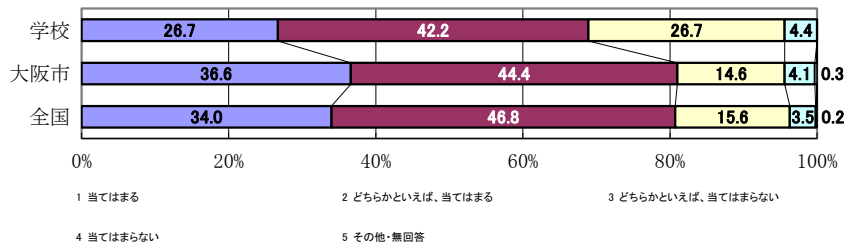
質問番号

質問事項

42

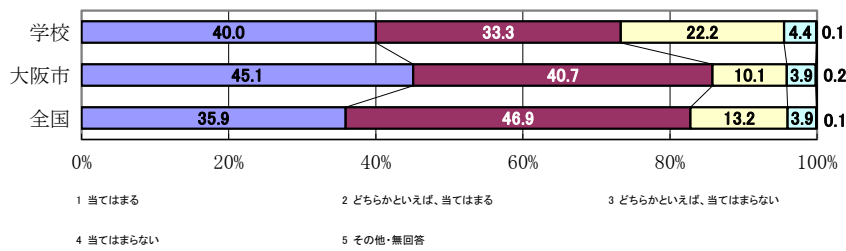
学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

1 2 3 4 5 6 7 8



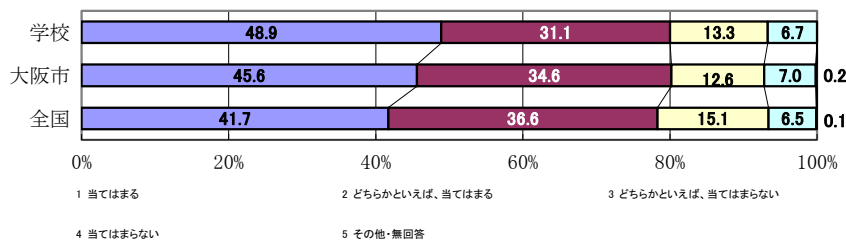
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



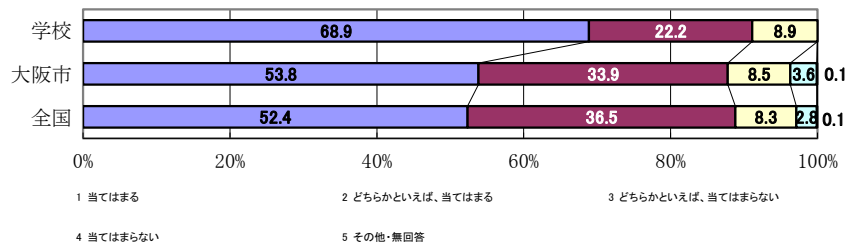
54

算数の授業の内容はよく分かりますか



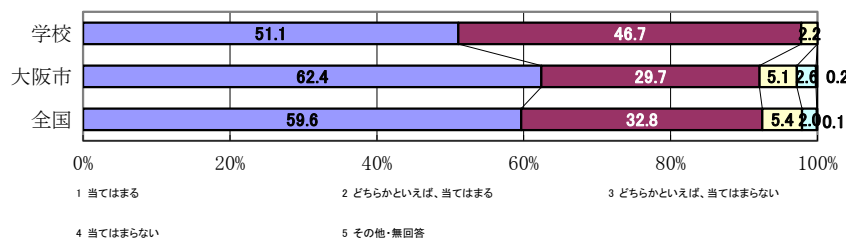
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



67

理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか



学校質問より

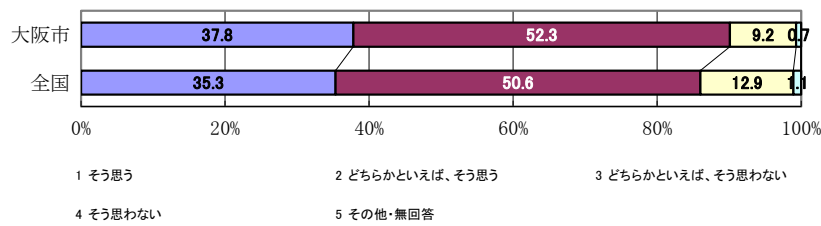
質問番号
質問事項

8

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

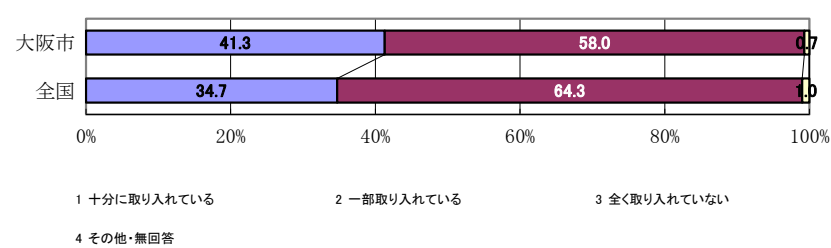
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

ICTを活用した校務の効率化(事務の軽減)の優良事例を十分に取り入れていますか

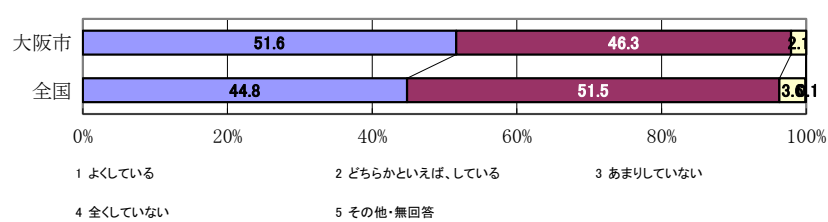
学校 「十分に取り入れている」を選択



17

言語活動について、国語科を要としつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

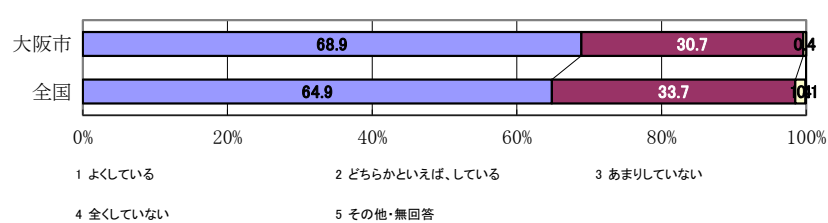
学校 「よくしている」を選択



18

授業研究や事例研究等、実践的な研修を行っていますか

学校 「よくしている」を選択



32

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業において、児童自ら学級やグループで課題を設定し、その解決に向けて話し合い、まとめ、表現するなどの学習活動を取り入れましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

